

アジア原子力協力フォーラム（FNCA） 「2022スタディ・パネル」の開催について

令和4年3月1日
内閣府
原子力政策担当室

令和4年3月9日、オンラインにて、アジア原子力協力フォーラム（FNCA）「2022スタディ・パネル」を下記のとおり開催する。

FNCA参加国地域における原子力エネルギーや原子力利用が高まるにつれ、参加国は、発電の導入に際し、法的整備や人材育成など、適切な原子力発電基盤整備は重要であるとの認識を共有してきた。今年度は、加盟国からの要望により、主題を「原子力科学・技術への国民信頼の構築」として発表と議論を予定。

1. 主催

内閣府・原子力委員会

2. 開催日時

令和3年3月9日（水）16:00-19:15

3. 開催場所

オンライン

（※国内会場をフクラシア丸の内オアゾ16階 Hall B に設営）

4. 参加予定国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本*、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム

他に招待講演者が OECD/NEA、スウェーデン国家放射性廃棄物評議会及び日本の資源エネルギー庁から参加**

* 日本からは、上坂充原子力委員会委員長及び佐野、中西両原子力委員、覺道内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官、和田智明 FNCA 日本コーディネーター他が出席予定。

** 基調講演者として OECD/NEA のグレッグ・ラマーレ氏 (Mr. Greg Lammare, Head of the Division of Radiological Protection and Human Aspects of Nuclear Safety)、また有識者として、スウェーデン国家放射性廃棄物評議会のジョアンナ・スウェディン氏 (Ms. Johanna Swedin, Science Secretary of the Sweden National Council for Nuclear Waste)、及び資源エネルギー庁放射性廃棄物対策課の下堀友数課長が講演予定。

アジア原子力協力フォーラム（FNCA） 「2022スタディ・パネル」プログラム

日 付：令和4年3月9日 16:00-19:15
場 所：オンライン
（国内会場：フクラシア丸の内オアゾ 16階 Hall B）
主 催：内閣府・原子力委員会

令和4年3月9日（水）

プレスオープン部分（16:00～17:05）

セッション1：開会（16:00～16:15）

- ・開会宣言 佐野原子力委員会委員（会合議長）
- ・参加者自己紹介
- ・プログラム確認

セッション2：基調講演（16:15～17:05）

（モデレータ：佐野利男 原子力委員会委員）

講演-1 「原子力施策に於けるステークホルダー・インボルブメント」
Mr. Greg Lammare, Head of the Division of
Radiological Protection and Human Aspects of
Nuclear Safety (OECD/NEA)

講演-2 「ステークホルダー・インボルブメント：原子力」
上坂充 原子力委員会委員長

セッション3：ケース・スタディ 放射性廃棄物管理（17:05～17:50）

（モデレータ：中西友子 原子力委員会委員）

ケース・スタディ1「スウェーデンのケース」

Ms. Johanna Swedin, Science Secretary
(Sweden National Council for Nuclear Waste)

ケース・スタディ2「日本のケース」

下堀 友数 資源エネルギー庁 電力・ガス事業部
放射性廃棄物対策課長

セッション4：ケース・スタディ 加盟国のケース（18:00-19:10）

(モデレータ : Dr. ルシル・アバッド フィリピン国立原子力研究所
原子力リサーチ部門長)

ケース・スタディ 3 「オーストラリアのケース」

研究炉設置でのステークホルダー・インボルブメント

ケース・スタディ 4 「インドネシアのケース」

原発導入についてのパブリック・コミュニケーション

ケース・スタディ 5 「マレーシアのケース」

研究炉導入についてのパブリック・コミュニケーション

セッション 5 : 閉会セッション (19 : 10~19 : 15)

閉会の辞 : 佐野利男 原子力委員